

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 多機能型・プロスペール

公表日 2026年 4月 1日

利用児童数 100%

回収数 100%

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%				スペース・職員配置) : お子様一人ひとりの活動スペースを十分に確保し、多動や衝動性のある子でも安心して過ごせるレイアウトを維持します。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	100%				児発管や指導員等の専門職を適切に配置し、常に目が行き届く安全な体制を継続します。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%				(環境構成・清潔・心地よさ) : モンテッソーリ教育の視点を活かし、どこに何があるか一目でわかる「構造化」を徹底し、自発的な活動を促します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%				感染症対策を含む清掃・消毒を徹底し、未就学児が床に近い位置で活動しても安全な清潔環境を保ちます。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%				(専門的支援・個別支援計画) : ABAや氷山モデルを用い、行動の背景にある原因を分析した上で、お子様の特性に最適な支援を提供します。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%				保護者様との面談を通じ、家庭での悩みやニーズを反映させた「納得感のある個別支援計画」を策定します。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	100%				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%				(ガイドラインの遵守・プログラムの工夫) : 児発ガイドライン(本人支援、家族支援、移行支援)を網羅し、IT療育や指先を使った教具活動など、多彩なプログラムを組み込みます。活動がマンネリ化しないよう、お子様の興味や発達段階に合わせて定期的に教具や教材を入れ替えます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%				
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	50%			50%	(地域交流) : 保育園や幼稚園、他の地域資源との連携を深め、集団生活に向けた準備や交流の機会を創出します。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%				(説明・家族支援プログラム) : 契約時や更新時に、運営規程や計画内容を分かりやすく説明し、合意形成を徹底します。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%				ペアレント・トレーニングや勉強会を企画し、家庭で使える「氷山モデル」の考え方などを提供する家族支援を充実させます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	50%			50%	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	100%				(共通理解・共感的支援) : SNSや連絡帳を活用し、日々のスモールステップ(「今日はこれができた」)を具体的に伝え、お子様の成長を共に喜び合います。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%				保護者様の育児の疲れや不安に対し、専門的な知見を持って共感的に寄り添い、共に解決策を考えます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1			1	(交流支援・意見交換) : 保護者同士の交流機会の提供や、相談・苦情を迅速に受け付ける体制を周知し、風通しの良い関係を築く努力していきます。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	50%			50%	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	50%			50%	(情報発信・個人情報) : 定期的な通信やSNSで活動の様子や自己評価結果を発信し、運営の透明性を高めます。 お子様の写真や情報の取り扱いには細心の注意を払い、信頼を損なわない管理を徹底します。 (マニュアル策定・避難訓練・安全確保) :
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	50%			50%	事故防止、防災、防犯、感染症のマニュアルを整備し、スタッフ間でシミュレーションを繰り返します。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100%				お子様の特性（パニック等）を考慮した個別避難計画を策定し、定期的な訓練を実施・周知します。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	100%				(緊急時連絡) : 怪我や事故が発生した際、迅速な連絡と誠実な状況説明を行うフローをスタッフ全員で共有します。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%				安心感・通所の楽しみ・総合満足度) : お子様が「自分で選んだ活動」に没頭できる時間を保障し、自己肯定感を育むことで、通所の意欲を高めます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100%				スタッフの労働環境を整えることで（残業ゼロ等）、常にスタッフが心にゆとりを持って、お子様や保護者様に笑顔で接することができる質を維持します。
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%				